

# RC造建築物の損傷量評価法・修復性能評価法の構築

都市・建築学専攻 リハビリテーション工学研究室

研究主担当者: 青木



## 研究の背景

地震時に建物が倒壊しないための**安全性(安全限界)**  
 ⇨ 様々な研究が進んでいる

↓ 安全性が確保されたとすると...

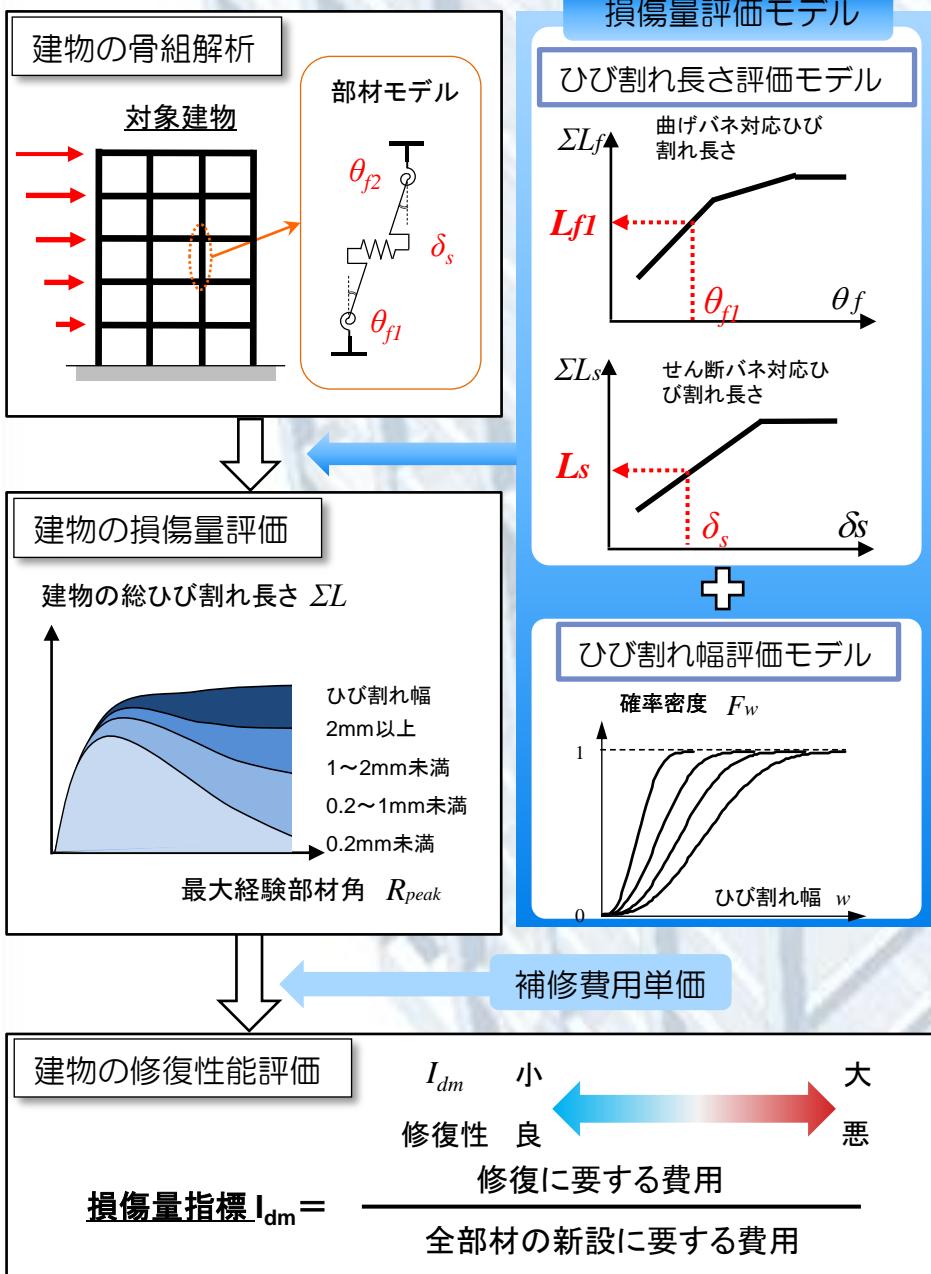
建物が経済的に許容できる範囲で  
 修復できるかの判断に用いる**修復性(修復限界)**  
 ⇨ 現行の評価法に問題があり、研究も十分でない

## 研究の目的

建物に生じる損傷量を解析的に算出する**損傷量評価モデル**を構築した上で...

建物全体に生じる損傷の度合い(**損傷量指標**)  
 を算出 ⇨ **修復性能の評価**へ

## 損傷量指標の算出(精算法)

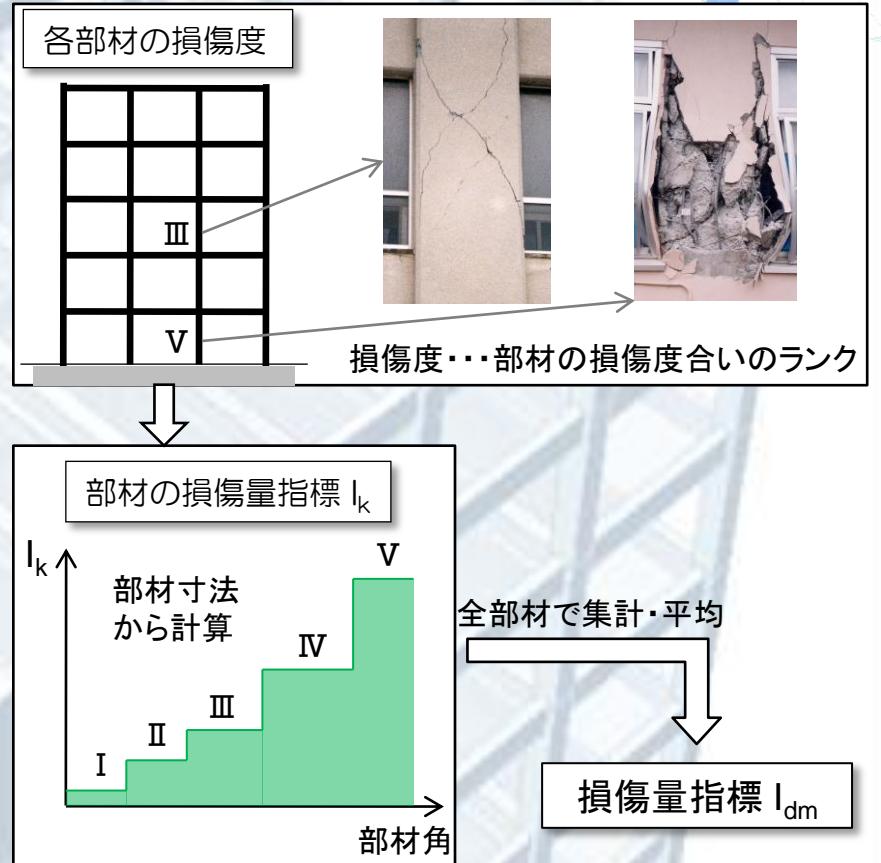


## 問題点...

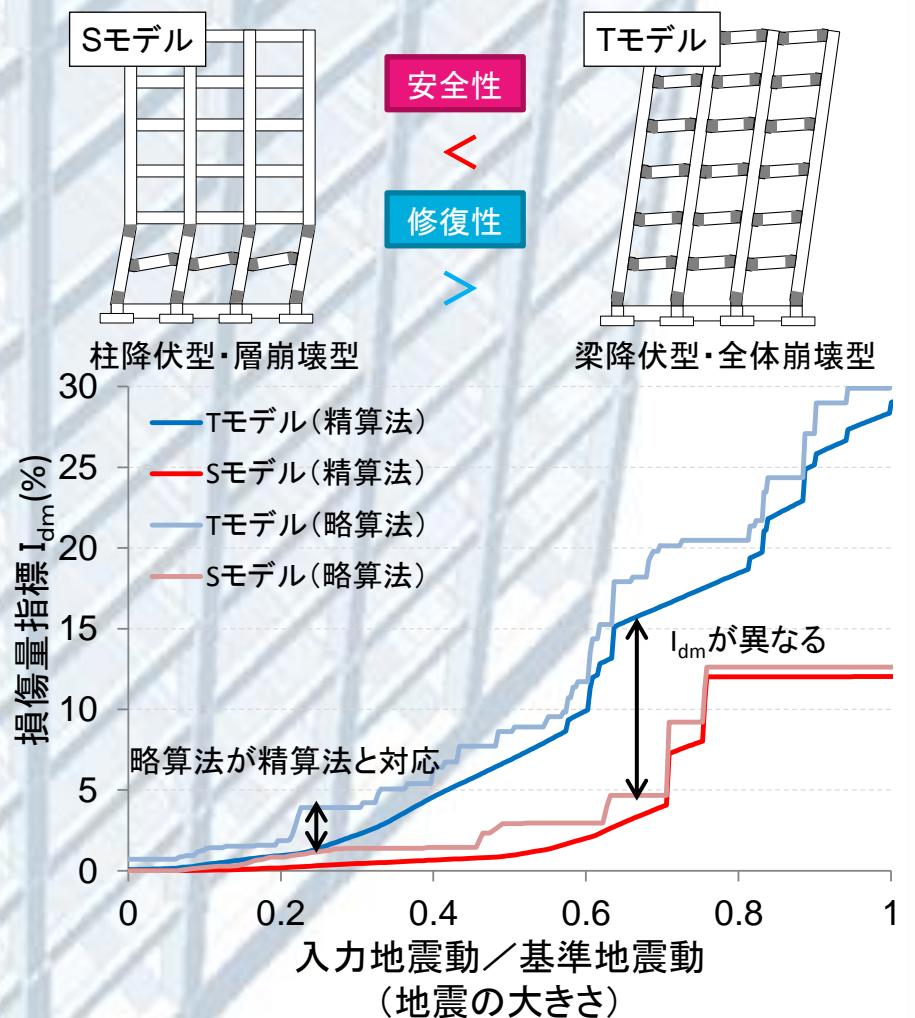
算出が複雑で時間がかかるため、地震で被災した建物の評価に向いていない

⇨ より簡単に算出できないか?

## 損傷量指標の算出(略算法)



## 建物モデルの評価例



## まとめ

本手法を用いて建物の損傷度合いを評価することで...

- ・建物の修復性能を比較することができる
- ・被災建物の損傷度合い(修復費用)を簡単に算出できる

具体的な修復限界状態の提示が今後の課題